

# 学校運営協議会議事録

作成日 令和8年3月10日

作成者 鈴野 春花

会議名:令和7年度 第3回小田原高等学校 学校運営協議会

日時:令和7年3月10日(火) 14:50~17:00 場所:第一会議室

## 時程・議題

- (1) 開会・校長挨拶 14:50~
- (2) 学校運営協議会(司会 小見山副校長 / 記録 鈴野教諭・溝淵教諭) : 14:55~16:15  
【学校評議委員会委員、学校担当職員】
  - ① 石野会長挨拶
  - ② 令和7年度学校評価報告書 実施結果「成果と課題」について(各グループ)
    - 全日制課程
      - [田中 雄士 ・教 務グループ 総括教諭]
      - [山口 真也 ・研究開発グループ 総括教諭]
      - [細川 和也 ・生徒支援グループ 総括教諭]
      - [三井 栄慶 ・キャリアガイダンスグループ 総括教諭]
      - [菊地原 孝祐・総 務グループ 総括教諭]
      - [二宮 賢一 ・広報情報グループ 総括教諭]
    - 定時制課程
      - [柴田 訓一 ・学習支援グループ 総括教諭]
      - [鈴木 大地 ・教育活動推進グループ 総括教諭]
  - ③ 質疑応答・委員からの意見聴取
- (3) 閉会・校長挨拶
- (4) 全日制部活動視察 16:20~17:00

## (2) 協議

① 石野会長より

② 令和7年度学校評価報告書 実施結果「成果と課題」について（各グループ）

全日制課程

[田中 雄士・教務グループ 総括教諭]

- ・SSHや学力向上進学重点校としての教育課程の検討をしてきた。  
2年次の理数探究を3クラス3展開で実施することができた。  
今後もよりよい方法を考えていきたい。  
2年次の理数探究を3クラス3展開、文理混合で実施できないか検討している。  
時間割等の懸念もあるが、連携しながら新しい展開を考えていきたい。

[山口 真也・研究開発グループ 総括教諭]

- ・生徒による授業評価の評価項目3及び6の回答の「(項目4) かなり当てはまる」を50%以上を目標にしてきた。第2回のアンケートでは40%以上になり、良化傾向にある。
- ・情報の授業評価がとても良い。  
他教科にとって授業の参考になるのではないかと考えている。  
自教科、他教科の授業見学を推進したい。
- ・SSH関連の活動について、専門の指導は教員のみでは厳しい現状にある。  
そのため、大学等外部機関と連携し、教員の指導力向上を図っている。  
学年の交流、地域への発信も来年度に向けて拡充していきたい。  
保護者からもアンケートも好評だった。

[細川 和也・生徒支援グループ 総括教諭]

- ・文化祭や体育祭など、生徒と連絡を密にしながら生徒主体で実施した。  
文化祭のキッチンカーの導入や、体育祭雨天時の代替案も生徒が率先して考えた。  
3月の合唱コンクールに向けて練習を行っている。クラスの結束が深まる大切な学校行事である。
- ・体育祭は夏の暑さ対策が課題である。来年度は時期を遅らせて実施できるか検討している。
- ・生徒支援の観点から、SCやSSWとの連携を密にしている。  
相談人数も増え、予約が取れないのが課題になっている。教員も入り、密にサポートしている。  
SSWと連携し、家庭の経済状況に応じて様々なサポートをしている。
- ・部活動の活動状況、大会結果について説明した。

[三井 栄慶・キャリアガイダンスグループ 総括教諭]

- ・学力向上進学重点校として、難関大学志望者が増加してきている。  
生徒に調査を実施したところ、半数以上が難関大学志望だった。
- ・今年度実施できなかった、「社会人の先生方と学ぶ」を実施する方向で今後動く予定。

[菊地原 孝祐・総務グループ 総括教諭]

- ・防災訓練を実施した。  
地域貢献活動は雨天のため2年次のみ実施。
- ・樫友祭や同窓会入会式、校歌祭など、同窓会との連携を図っていきたい。

[二宮 賢一・広報情報グループ 総括教諭]

- ・第1回目の学校説明会は募集開始後すぐに埋まる状況。小田原高校を目指す中学生など、多くの方に  
関心を寄せてもらっている。  
県西地区以外から通学する生徒が多く、今後も高い志を持った生徒が集まる状況を維持したい。  
生徒アンケートを実施すると、環境の良さを評価している生徒が多い。

中学生に小田原高校を知ってもらうために、まず小田原高校に来てもらえる機会 PR をしていきたい。今年度は、ホームページの更新を頻繁に行った。

内容の濃いSSH関連の取組も逐一更新できている。

小さなことでも地域に紹介し、小田原高校の魅力を発信していきたい。

- ・電子黒板を導入したことにより、授業の内容が変化した。

学習環境の良さも小田原高校の魅力にしていきたい。

[小見山副校長]

- ・事故・不祥事は不注意や性差、年齢による思い込み、認識のずれ等により生じることがあるため、認識を改める研修を行ってきた。

- ・働き方改革について、時間外労働を減らすことを目標にしていたが、全日制では19%と難しかった。前期は22%だったため、減少傾向にある。

職員が時間管理、業務の整理を意識した結果だろう。

業務アシスタント、業務サポーター等の協力も得て、今後も働き方改革を進めていきたい。

定時制課程

[柴田 訓一・学習支援グループ 総括教諭]

- ・教育課程・学習指導について

後期の生徒による授業評価について、前期よりも数値が低下し、肯定的な回答が70%を超えているものの、目標とする80%には届かなかった。

ここ数年生徒数が増加し、不登校などの課題を抱える生徒も多い。前期は学校生活に対するモチベーションが比較的高いが、後期になると疲れが見え、休みが目立ってくる。このことが授業評価の結果につながっているのではないかと。

授業改善も必要だが、教員間の情報共有を密にして、生徒の生活面も含めた目配りや指導が必要である。

- ・地域等との協働について

秦野・伊勢原地区の定時制募集がなくなったことから、これらの地域からの見学・相談や志願者が増えている。広報活動の成果があったとも言えるが、夜間定時制であるため、今後は生徒の通学時間が長くなることへの対応も必要となる。

[鈴木 大地・教育活動推進グループ 総括教諭]

- ・生徒指導・支援について

落ち着いて学校生活を送れる環境になっている。生徒数が少ない点をいかして、生活指導に関しては予防的な生活指導体制を継続していきたい。また、教育相談に関しても個々の生徒にきめ細やかな対応ができるよう支援体制を整えたい。

- ・進路指導・支援について

部活動加入率について、今年度は49%と一昨年度、昨年度から続いて上昇している。また、学校行事を生徒自らが企画・運営するなど、ここ数年で改善し、活発になっている。

進路については、就職・進学ともに希望の進路に進むことができている。来年度は生徒数が2倍になり、サポートが必要な生徒も多いことから、組織的な進路指導体制を構築する必要がある。

- ・地域等との協働について

城山中学校との地域清掃の他、インターンシップ、ボランティアへの参加が増え、地域とのつながりも深まっている。

- ・学校管理・学校運営について

避難訓練について、後期は火災発生からの停電という複合災害を想定して訓練を行った。生徒だけでなく職員も防災への意識を高めることができた。

ハード面、特に停電発生時の通信機材の整備が次年度以降の課題である。

[岡村教頭（定時制）]

・不祥事防止について

毎月職員会議の際に不祥事防止研修会を実施し、認識のずれがないか確認している。大きな事故や不祥事は起きていない。

職員数が少なく、本来は複数名で分担するような業務を一人で担当することになる。見落としが起こらないようにする必要がある。

・働き方改革について

定時制に関しては、時間外労働時間 45 時間を超える職員はいない。

より一層業務の効率化をすすめて、働きやすい職場を作っていきたい。

③ 質疑応答・委員からの意見聴取

◎ [石田委員]

・視聴覚室を P T A で使用するが、椅子の下の埃が目立つ。説明会当でも外部の人が出入りする場のため、掃除をしてほしい。

・定時制の文化祭で生徒が楽しそうにしていた。生徒が楽しいと思える学校は良い。

◎ [和田委員]

・定時制に平塚秦野からくる生徒が増えた。相談員が説明会を実施していることが要因か。

・理数探究発表会について、テーマ設定の際に、条件を絞ったほうが良いのではないか。条件が曖昧で、季節によって実験できないことがあるのではないか。

→生徒の主体的なテーマ設定を促したい。計画段階から不備があったのは否めないが、生徒の興味関心からスタートさせたい。教員が全て誘導するのではなく、計画段階で指導できる環境を整えたい。

・私立の無償化について、公立高校の志願者が減少した報道がある。小田原高校がどうか。

→志願者は前年度より 30 名少なかった。

◎ [中山委員]

・生徒による授業評価のデータがあると分析しやすい。

・中学生からみて小田原高校は親しみを感じる存在である。

百段坂までは一緒に通学してくるので、社会生活の見本を見せてもらえるありがたい。

・中高の連携、交流があると効果的だと考える。小田原高校の発表会関連の行事を、中学生が見学できると良い。

→理数探究の授業で中学生にアンケートをとった例があった。完全な体制ができていないが、今後協力していきたい

[資料]

① 配付資料一覧、座席表

② 令和 7 年度 第 3 回学校運営協議会次第

③ 全日制配付資料

④ 令和 7 年度 学校評価報告書（実施結果）「成果と課題」

⑤ 全日制部活動場所一覧